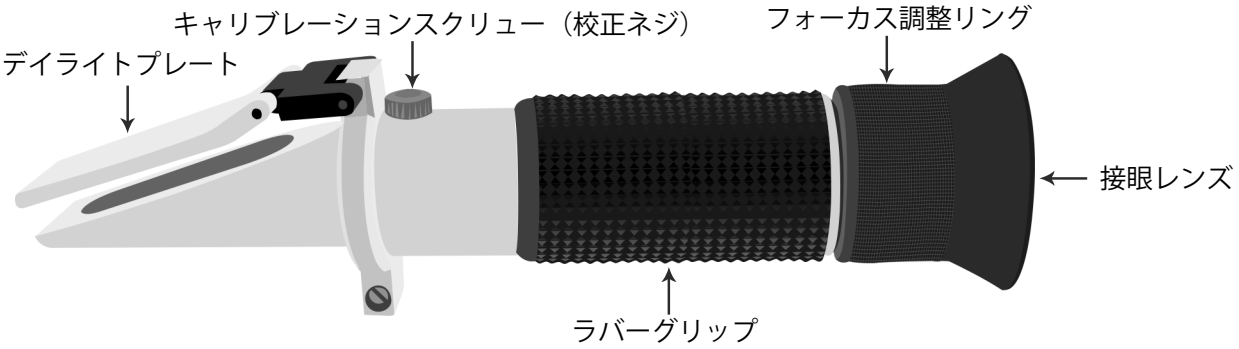
操作マニュアル

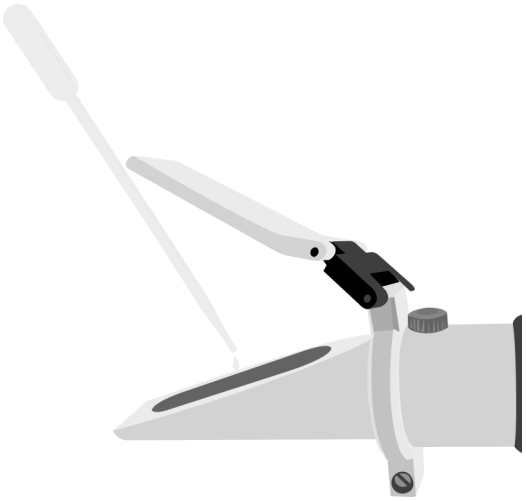
ハンドヘルド屈折計用

部品名称：



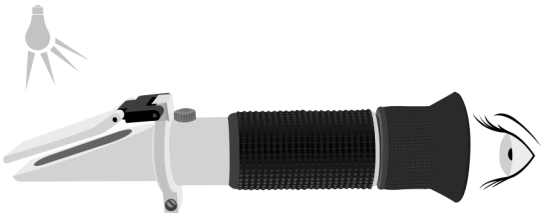
ステップ1

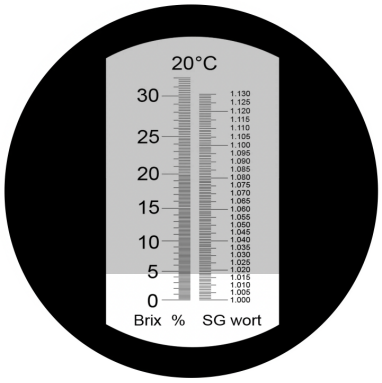
デイライトプレートを開き、プリズムの表面にホコリや汚れがないことを確認します。蒸留水を2〜3滴プリズムに垂らし、プレートを閉じて水が気泡や乾いた部分なく全面に広がるようにします。サンプルが屈折計の周囲温度に馴染むように、約30秒間そのままにしてください。



ステップ2

屈折計の先端を光の方向に向け、接眼レンズを覗きます。中央に目盛りが入った円形の視野が見えるはずです（目盛りがはっきり見えるようにフォーカス調整をしてください）。視野の上部は青色、下部は白色になっているはずです。

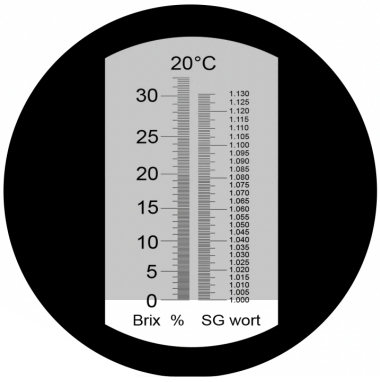




※ ステップ2・3で見えるスケールは参考例です。実際の製品のスケールをご確認ください。

ステップ3

接眼レンズを覗きながら、ドライバーを使ってキャリブレーションスクリューを回し、青と白の境界線が「0」スケールの位置と正確に一致するように調整します。これで校正は完了です。

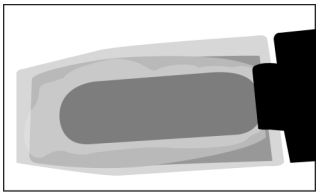


「***0***」に校正する

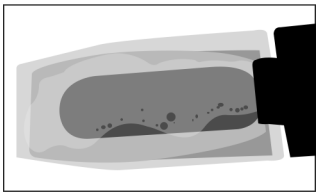
注意：
測定時の周囲温度は20°C（68°F）である必要があります。環境温度（サンプルではなく）が5°F以上変化した場合は、再校正をお勧めします。自動温度補正機能（ATC）付きの機器であっても、再校正時には周囲温度を20°Cに保ってください。校正後、10°C～30°Cの範囲内であれば、温度変化による精度への影響はありません。

操作方法：

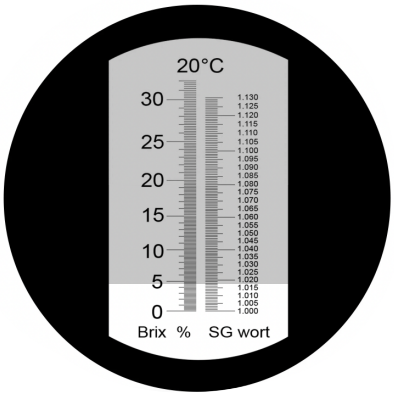
測定したいサンプルを数滴プリズムに垂らし、デイライトプレートを閉じます。サンプルが均等に広がり、気泡が含まれていないことを確認します。屈折計の先端を光の方向に向け、接眼レンズを覗きます。青と白の境界線が目盛りと交差する位置が、濃度の測定値になります。



良好で均一に分布したサンプル



サンプルが均一に分布しておらず、気泡が取り除かれていない



サンプルの読み取り値

（参考用です。実際のスケールはご使用の製品をご確認ください。）

警告・メンテナンス：

1. 正確な測定には正確な校正が必要です。 プリズムとサンプルは同じ温度である必要があります。

2. 湿気の多い場所での使用や、水中に浸すことは避けてください。 曇りが生じた場合、水が内部に入り込んでいる可能性があります。販売店または専門技術者にご相談ください。

3. 研磨剤や腐食性のある化学薬品は使用しないでください。 プリズムのコーティングが損傷する恐れがあります。

4. 毎回の測定後には、柔らかい湿った布でプリズムを清掃してください。 定期的に清掃をしないと、測定誤差やプリズムの損傷につながります。

5. 光学機器ですので、丁寧な取り扱いと保管が必要です。 適切に扱えば、長期間にわたり正確な測定が可能です。